

令和3年5月7日

富士市内の事業者の皆様

富士市新型コロナウイルス感染症対策本部  
本部長（富士市長） 小長井 義正

### 新型コロナウイルス感染症防止対策の徹底と従業員への注意喚起について

各事業所におかれましては、新型コロナウイルス感染症防止対策に格別のご理解とご協力をいただき、これまでも様々な対策を講じていただいていることと存じます。

しかしながら、富士市内におきましては、4月下旬に事業所におけるクラスターが相次いで発生いたしました。県では、当該事業所の従業員を全員特定しており、市中感染には及んでおりませんが、全国的には、感染力が高いとされる変異株の流行について、大変厳しい状況となっており、このような状況が続くと医療提供体制が崩壊しかねない局面にあります。

今後の感染拡大を防止するためには、行政の取組だけではなく、事業者の皆様、そして市民の皆様一人ひとりの行動が重要であります。

事業者の皆様には、業種別ガイドライン等に基づき、「3つの密」（密閉、密集、密接）の回避など、より一層の「感染防止対策の徹底」に取り組んでいただくとともに、職場でのクラスター発生防止のため、感染リスクが高まるとされる次の「感染リスクが高まる5つの場面」について、あらためて従業員の皆様へ周知し、注意喚起をお願いします。

- 1 飲酒を伴う懇親会等
- 2 大人数や長時間におよぶ飲食
- 3 マスクなしでの会話
- 4 狭い空間での共同生活
- 5 居場所の切り替わり（休憩室、喫煙所、更衣室等）

「感染リスクが高まる5つの場面」の詳細につきましては、次のサイトをご覧ください。

●新型コロナウイルス感染症対策【内閣官房】

<https://corona.go.jp/proposal/>

富士市新型コロナウイルス感染症対策本部事務局  
(富士市保健部保健医療課 TEL0545-55-2739)

# 感染リスクが高まる「5つの場面」

## 場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



## 場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



## 場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



## 場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



## 場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

